ヘキモ印象ノ新ナル時機ニ於テ敢敢ス方面軍独自ノ所懷ヲ録ス

第二「インパール」作戰開始ノ経緯

昌長ニ第十八師團長マリシ牟田口中将ハ緬甸戰定作戰(註一)大作戰困難トセノ経驗ニ基キ「ジビユー」山系以西「チンドウイン」河畔ニ至ル間ハシ大密林地帶ヲ主(註二)瘴癘不毛地ニシテ大部隊ノ作戰極メテ困難ナルヲ以テ該ナル理由ナリキ

方面ノ敵ニ對シテハ大ナル顧慮ヲ要セサルヘシト判断シア

(中)

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

リシ所昭和十八年二月「ウインゲート」ノ指揮スル

（註二）

印度第七十七旅團ハ右判断ヲ裏切リ「タム」附近ヨリ印緬國境ヲ突破シ「カーサ」縣ヲ濃過シテ「バーモ」方面ニ進出スルニ至レリ　右ハ幸ニシテ第十八、第三十三、第五十六各師團ノ果敢ナル攻撃ニ依リ其ノ主力ヲ捕捉潰滅シ得タルモ間モナク第十五軍司令官トナリシ牟田口中將ハ「ジビユー」山系以西地區ニ對スル從來ノ判断ハ空中補給ヲ伴ヒ推進シ來敵

（註三）

謀略部隊ヲ多數ノ縱隊（一縱隊三〇～三〇〇）トナリ密林地帶ヲ我ク間隙ヨリ深ク潜入セルモノトス

（中）

0332

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ニ對シテハ適應ヘシ難キヲ痛感セリ茲ニ於テ該方面ノ敵ノ進攻ヲ封殺セシカ爲ニハ尠クモ「タム」附近「アラカン」山系ノ南ヲ占領シ「インパール」「タム」道ヲ制扼シテ敵ノ「チンドウイン」河畔ヘノ展開ヲ妨害スル以外ニ寡少兵力ヲ以テシテハ防衛對策無シト確信スルニ至レリ

(註四)
右ノ考察ハ總テ該方面敵ノ兵源地タル「インパール」

(註三)
軍ロ當時ノ理由ハ乾季廣大ナル密林地帯ノ防禦ハ兵力上至難ナリトシタルニ因ル

(中)

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

附近最定作戰ニ迄發展シタルモノナリ

第三「インパール」作戰受正ニ関スル所見

緬甸方面軍ノ基本任務ヲ並ニ存在價値ヲ考察スルニ其ノ第一点ハ敵ノ印支連絡路ノ遮断ニシテ其ノ第二点ハ大東亜西陸ノ安定確保ナルハ明カナリ

(註五)

即チ何レノ方面ヨリスルモ全般的ニ防衛主体ニシテ積極的攻勢任務ハ考ヘ得ヘカラサルモノナリ

(註四)

全国家ノ意見アリシニトハ事實ナルモ昭和十五年ハ素ヨリ總軍ニ於テモ印度作戰ハ十七年秋以來研究シアリシ處ナリ中央ニ於テモ當時國軍ハ海陸共ニ全面的ニ守勢ニ立ち且軍々トシテ戰果自ル所モナキ折柄國民ハ未曾有ノ為ニモ為ニ得ハ某程度進攻作戰ヲ行フ

0334

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp